

2003年 秋田JCスローガン「“For The Next Semicentennial”

元気あるあきた創造のために志民と共に歩みだそう」

# AKITA JC NEWS

ホームページアドレス <http://www.akitajc.jp>

発行人/斎藤秀光 発行所/(社)秋田青年会議所情報サービス委員会 事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F ☎(824)7070

## 人間力開発プログラム in 金足農業高校



去る3月6日(金)金足農業高校にて人間力開発プログラムを実施いたしました。対象は食品科学科2年生42名。当日は数名の先生が見学を訪れ、さらに新聞社・テレビ局、我々JCMEMBERで教室は超

満員!いやがうえにも熱気に包まれ、プログラムはスタートしました。

この人間力開発プログラムを実施するにあたり、小南委員長の指導の下、委員会メンバーは1月から3月6日前日まで徹底的にロールプレイングで訓練して参りました。特に練習したのはグループディスカッションテーマ「私の夢」「理想の姿」を如何に参加する高校生の皆さんからストレートに引出し、普段友人同士でも会話する事の無い自分の内面をさらけ出すことで、道徳性・社会性を育み自己成長を促すことができるか…と言う、言葉にするのも難解な訓練でした。



委員全員が一定以上のスキルアップを図るために、高校生役を持ち回りで約20分という制限時間内でどこまで語り合えるか何度も特訓いたしました。高校生との対話で委員長が強調されたのは『相手の意見を絶



対否定してはいけない』というのが約束事でした。訓練当初は皆“説得・説教”型のディスカッションでしたが、委員長の懇切丁寧な指導の下、“心の内面を顕在化する聞き役”として一定の成長を遂げ、いざ出陣となりました。

当日は少し趣向を変え、ショートムービー『HANAUT



A』上映の前後10分ずつをディスカッションにあてましたが、いざ本番でやってみると、6人一組のテーブルそれぞれの差はあれど、まずまずの成長があったのではと思います。特に『HANAUTA』を見た後に一人一人の生徒に感想を聞いてみると、中村さんの献身的な行動に心の中で何かが突き動かされた様子でした。中には自分の夢や理想の姿が明らかに変わった生徒もいました。

“自分の人生は自分で選び、そして誰かを支える為に生きている”“For you”の気持ちがほんの少しでも芽生えるキッカケになればこの研修プログラムは成功したと言えるのではないのでしょうか。

まだまだ至らない点も数多くございますが、今年度の人間力開発推進委員会は精力的に県内の高校生とふれあって参ります。

最後になりますが金足農業高校の教職員、生徒の皆さん、ご尽力いただいた情報サービス委員会の皆さん、本当にありがとうございました。

人間力開発推進委員会 落合 隆光

## P・C・Aアクションプラン

去る2月19日水曜日P・C・Aアクションプラン策定委員会第1回オープン委員会をアキタニューグランドホテル銀河の間にて開催させていただきました。当日はお忙しい中50名を超えるメンバーにご参会いただき、誠にありがとうございます。

当日は、7つのグループに分かれ、「あきたらしさ」をキーワードにあきたの誇れる部分、あるいは弱点を、様々な観点から挙げていただき、さらに誇れるところを活かす為に、また弱点を克服するために秋田JCができることをワークショップ形式にて話し合っていました。入会間もない委員会メンバーもファシリテーターとしてグループの進行をさせていただきましたが、ご参加いただいた方の協力で活発な話し合いができたと思います。その後の発表でグループごとにいろいろな意見を出していただき、今後の委員会活動を進めていくうえで大変参考になる意見を聞かせていただきました。

ただし観点が適切でなかったため意見が広範囲に渡り、発表段階まで意見が集約できないグループも多くあったことが残念でした。委員会メンバーは当日までに何回も練習をしたのですが、次のオープン委員会までにさらに練習を

重ね、意見が出やすい環境を作りたいと思います。また、福祉や教育などあまり意見の出なかった分野がありました。これは私たちJCメンバーの興味や、いつも接していることかどうかによって得意不得意があるためだと思います。これらの点に関しては、今後行政や他NPO法人の方との意見交換を行い、アクションプランに厚みを持たせていく予定です。

今後、当委員会では、第2回目のオープン委員会、担当例会の開催そして提言書の作成と、LOM内外の方の多大なるご協力を仰ぐこととなりますので、よろしく願いいたします。

P・C・Aアクションプラン策定委員会  
委員長 阿部 大助



### 3 月 例 会 を 終 え て



平成15年度3月例会を3月18日にニューグランドホテルで開催させていただきました。地域の供育力推進委員会副委員長の刀根です。私もこの間まで、“教育”だと思っていたんですけど、“共育”です。皆さんは知っていましたか？

さて、今回は地域の共育ということもあり、テーマは、“JCとして親として今子供にできること”。例会に向けて緻密な計画を立てて進めてきたんですけど、予定していたパネリストの突然のドタキャン。このドタキャンの連絡を委員長から受けた時のその声はまさしく“まっ青”。いつもはダンディーに女性を口説く彼の声ではなかった！こんなハプニングを乗り越え、打ち合わせ通り進まない例会をなんとか無事？運営することができました。岩本コーディネーターありがとうございました。最後の質疑応答では大山委員長の“親としてどのように子供に接すれば良いか？”

との質問。

応答は、“夫婦が仲良くすること”。絶対必要だと思いました。川反の夜の花を摘み過ぎて、カミさんにピンタを張られる私ですが、娘のためにも花摘みを少し減らそうかと心に決めました。例会が終わった後の委員長の声はまさしく“パパ色”萩原委員長、委員会の皆さんお疲れ様でした。平川常任、岩本副理事長本当にありがとうございました。

本例会での意図が若干伝わらなかった部分もあったかもしれませんが、今年残り9ヶ月、委員会の総力をあげてすばらしいオープン委員会を開催いたしますので、会員のみなさまは是非参加して下さい！！

地域の共育力推進委員会 副委員長 刀根 一



### T O Y P 受 賞 者 近 況 報 告



1997年度受賞 後藤 友樹

活動内容

：SAJ（全日本スキー連盟）ナショナルチーム  
 JSBA（日本スノーボード協会）公認プロ  
 ROSSIGNOL Japan 専属ライダー

現在、日本を代表するスノーボードアルペン競技の選手として世界各国を転戦し、近年新種目として登場したスノーボードクロスにも積極的に取り組み数々の栄光を手に入れている。最近では大町にて飲食店を経営しており、その忙しい合間で時間を見つけ、大会出場やトレーニングに励み、スノーボーダーと経営者として頑張っている。

#### Q1 TOYP大賞を受賞して

受賞させて頂いた時私は、高校を卒業して間もなく正直、何も解らないまま受賞させて頂いたような感じがします。最近ではメジャーになったものの、当時スポーツとしては、マイナーなスポーツだったスノーボードに目を向け表彰し

て頂き大変ありがたいと思っております。

#### Q2 スノーボードをやって楽しかった事・得たものは？

世界各国でいろんな人と出会い、人と人とのつながり…うまく説明出来ませんが、【人】とゆう財産が出来ました（笑）

#### Q3 今後の目標

最近不況や、戦争とゆう暗い話題が多い世の中ですが、スノーボード通じて皆さんに少しでも、明るく活気あふれるような話題を提供出来るよう、今シーズン残り僅かですが、精一杯頑張り上位入賞目指し頑張りたいと思います。

#### 最近の主な成績

FIS 公認 第8回 スノーボード選手権南関東大会

ジャイアントスラローム 優勝

スラローム 優勝

ISF 公認 2003 ライザー スノーボードクロス 大会 準優勝

TOYP 事業推進委員会 副委員長 加藤 誠



## 働くおねえさん

先月号よりスタートしました「働くおねえさん」、第2回目の今回は、新社会創造委員会の奈良依子さんです。

情報：こちらの木工製品、素敵なおデザインですね。これも御社のデザインですか？

奈良：はいそうです。木工製品はもちろん、印刷物全般及びモニュメントのデザイン、オリジナルTシャツのプリントデザインなどなど、制作並びに製品企画、開発を行っております。

情報：多岐にわたってますね。ところで会社名はなんと言いますか？

奈良：株式会社アルテです。美術短大の卒業生の皆さんと一緒に立ち上げた今が旬の会社です。

情報：よく存じております。設立は昨年でしたか？

奈良：はい、平成14年の5月に設立しました。まだまだ新しい会社ですが、お客様にも恵まれて順調に推移しています。非常に忙しいのですが、良い仕事をさせてもらっています。

情報：うらやましいですね。社内での奈良さんの担当は？

奈良：デザインの企画、立案から営業、総務、経理と小さい会社なので、何でもやらなければならないのです。デザインのチェックはお客様より厳しいかも。社内の関所と言われてます。(笑)

情報：お休みの日はどのように過ごすんですか？

奈良：映画やビデオ鑑賞ですね。特に何も考えなくてよいSF物なんか大好きです。また、長期休暇が取れた時は、海外旅行に行きます。以前1年間住んでいた



ニュージーランドには良く行きますね。

情報：仕事もお休みもパワフルですね。JC活動について一言お聞かせ下さい。

奈良：LOM内はもちろんですが、一昨年、東北地区のアカデミーに向向いて公私共に非常に参考になりました。東北各県に友人ができた事はなによりです。皆さんも出向の話が来た時は、喜んで引き受けた方が良いでしょう。

情報：お仕事の疲れを癒す良く行くお店はありますか？

奈良：お酒は好きな方なので色々なお店に行きます。特にここというのは無いのですが、バーテンダー協会の加盟店であれば女性でも一人で行って安心して飲めるので、そういう所に行きますね。カクテルのお店に始めて行って必ず飲むのは「サイドカー」です。作り手によって味の違いが出やすいので、自分の好みのお店か判断する基準になります。

情報：さすが酒通。お酒に関して何か夢があるとか？

奈良：ドンペリのピンクのお風呂に入りたいな！(この後、お酒の話で数十分盛り上がる…書面上カットします。)

情報：さて、来月号の「働くおねえさん」をご紹介頂けますか？

奈良：はい、来年一緒に卒業の人間力開発委員会、籠谷和加子さんを紹介します。

情報：了解しました。今日はお忙しい中、ありがとうございました。

取材 情報サービス委員会 副委員長 星 章夫



## 4月例会のご案内

みなさん、TOYP 事業とはご存知でしょうか？

秋田JCでTOYP事業を展開しはじめてから十数年が経過しました。そこで、今一度、秋田青年会議所がTOYP事業及びTOYP大賞者に対して何が出来るのかを考え、今後のTOYP事業について方向性を模索したいと思えます。つきまして、下記の要領にて2003年度4月例会を開催いたします。

みなさまの、ご出席を心よりお待ちしております。

記

1. 日時 平成15年4月16日(木) 18:30~21:15
2. 場所 アキタニューグランドホテル
3. テーマ 「一TOYP, STEP, JUMP! / 今、TOYPから学ぶことは？」
4. 講師 鎌田 裕十朗氏  
(医師、取手青年会議所OB、  
日本JC TOYP大賞受賞者)  
TOYP事業推進委員会 委員長 佐々木寛人

## 編集後記

本年度情報サービス委員会として3回目のJCニュースを無事発行することができほっとしております。

段取り不足のため関係各位の皆様には多大なるご迷惑をおかけしておりますが、皆様の暖かいご理解、ご協力を賜り委員会メンバー一同感謝しております。もう少し余裕のある発行を目指して残り9回の発行をしていきたいと考えておりますが、なにぶん不慣れなことゆえ、いま少しの期間、関係各位の皆様のお暖かいご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年度JCニュース第3号の締めとさせていただきます。

情報サービス委員会 運営幹事 川口 雅丈